

研究タイトル：

**マーク・トウェインの小説研究／専攻科生への英語指導法研究**



氏名：	宇ノ木寛文 / UNOKI Hirofumi	E-mail：	unoki@kumamoto-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	文学修士
所属学会・協会：	日本英文学会、日本アメリカ文学会、全国高等専門学校英語教育学会		
キーワード：	アメリカ文学、小説、批評、マーク・トウェイン、英語教育、国際交流		
技術相談 提供可能技術：			

**研究内容： マーク・トウェインの小説における”strangers”に関する研究／研究発表に用いる英語指導法研究**

・マーク・トウェイン作品において、「ストレンジャー」という概念・キャラクターの役割は、作品ごとに、或いはその解釈により変化するが、その出現が物語の起動装置及びダイナミズム維持のエネルギー供給源となっている点で共通している。そうした装置としてのストレンジャーは、もう一つの物語装置、ストレンジャーの介入・干渉を受ける客体、が明示されている際に最大限に機能する。トウェイン作品で、多くの場合その役割は共同体そのものが担っており、2つのエネルギーが交錯、増幅することで、物語のダイナミズムが維持・拡大される。

そうした物語装置としての”stranger”はかなり初期から出現するが、特に後期の小説群における”stranger(s)”についての論究を中心とした個々の作品研究を通じて作家の全体像の考察に帰納することを試みている。

・本キャンパスでは専攻科における英語授業のトレーニングの一環として、①自らの研究論文の英文概要作成②英文ポスター作成及び発表③スライドを用いた研究発表、等を課している。その過程で英語科教員は、専攻科生が作成した英語文章の添削を含む指導にあたっているが、特に統語の観点からの類型的ミスが多く見られる。現在は個別の指導によって対応しているが、将来的には、そうした類型的誤りをあらかじめメカニズムの学習と実践の両面からトレーニングすることにより、英文を発信する力を向上させることを目指している。こうした試みは本校のグローバル人材育成に寄与するものと考えるが、そうしたトレーニングに資するテキストの将来的な開発を目指し、今年度は実際に学生が作成した文章を題材にとり、類型的な誤りの分析を行い、指導法の開発につなげることを試みる。

**提供可能な設備・機器：**

名称・型番(メーカー)	